

カワバタ マイ
写真家
着付師
アートモデル

1981 年生まれ、熊本市出身、ほぼ熊本育ち。25 歳から独学で写真始める。
2012 年、30 歳で予定日直前に死産、亡骸の息子を2日間撮り続ける。この
ことで人生と死生観が大きく変わり、夢だったプロカメラマンになることを決
意。フリーランスで活動開始する。

2013 年、着付け、着物レンタル、コーディネート、スタジオの改装、撮影ま
ですべて一人で行う古民家スタジオ、マイファニーフェイススタジオを益城町
に設立。

2014 年、河原町アートアワード 2014 にて、作品「家族遺影写真 151A」
が Gallery Attic 賞・天野譲滋賞を受賞。副賞により初の個展を開催。

2015 年、自身も被写体になり、ヌードフォトを制作。河原町アートアワード
2015 にて、作品「裸で生きている」が Boram Lim 賞。現在は崇城大学芸術
学部美術学科にて、彫刻・絵画の美術モデルも勤める。

2016 年、熊本地震で被災。益城町を中心に、被害、風景、人の写真を撮る。
熊本地震チャリティー企画「旅する、熊本写真展」の企画・代表を務め、写真
仲間とともに、東京を皮切りに全国8ヶ所まわり写真展を1年間行う。同展示
のシンボル作品、「ひかりのなかの子どもたち」が、第28回熊本市美術展 熊
本アートパレード優秀賞を受賞。

2018 年、益城町を出て一人娘と熊本市に移住。同年「むすめとわたしの、写
真展」、2020 年「コロナの世界で、わたしたちが手にしたもの」を開催。

「写真は撮り手が世界観を押し付けるものでなく、良いかんじに被写体と合わ
さっていきたい」が信条。県内外、精力的に活動を行っている…気がする。